

福祉サービス第三者評価 評価結果

対象事業者： 横浜市かながわ保育園

横浜市神奈川区東神奈川 1-12 リーデンスフォート横浜 3F

運営主体： 社会福祉法人 神奈川労働福祉協会

| | |
|--------------------|-----------|
| 実施概要 | 1 ページ |
| 総合評価 (評価結果についての講評) | 2～3 ページ |
| 評価領域ごとの特記事項 | 4 ページ |
| 分類別評価結果 | 5～13 ページ |
| 利用者家族アンケート分析・集計結果 | 14～21 ページ |
| 利用者本人調査分析 | 22 ページ |
| 事業者意見 | 24 ページ |

2006 年 1 月 10 日公表

実施機関： 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

実施概要

| | | |
|--------|----------------------|----------------|
| 事業所名 | 横浜市かながわ保育園 | |
| 報告書作成日 | 2005年11月21日 | 評価に要した期間 約3ヶ月間 |
| 評価機関 | 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま | |

評価方法

| | |
|---|--|
| <p>1、自己評価</p> <p>実施期間:05年6月～05年8月29日</p> | <p>職員会議で記入方法を説明し、常勤・パート職員各個人が記入。各クラス、給食担当、長時間担当のグループで、一項目ずつ確認・合意・意見交換し主任に提出。</p> <p>主任がまとめたものを職員会議で確認。</p> <p>幹部会(理事長・園長・主任・事務長)で協議・合意して最終集約。</p> |
| <p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間:05年8月22日～05年9月2日</p> | <p>全利用者の保護者99人に対して、事業者側から家族に手渡し。同封の返送用封筒にて、評価機関宛匿名で返送。</p> |
| <p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日:第1日 05年9月29日 第2日 05年10月4日</p> | <p>第1日は7:00～21:00まで保育観察を中心に実施。保育観察以外には、昼食後の書類調査、夕方の5歳児本人調査を実施。</p> <p>第2日午前中は、園長・主任を対象に事業者調査。幼児と一緒に昼食後、午後は保育士(各クラスリーダーおよび男性保育士)、栄養士・看護師、その後園長・主任に再度事業者面接調査。最後に理事長を含めて意見交換を実施。</p> <p>施設見学は、訪問調査の打合せ時に事前実施。</p> |
| <p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日:第1日 05年9月29日 第2日 05年10月4日</p> | <p>観察調査は、主に第1日・2日の午前中に実施。</p> <p>5歳児の聞き取り調査は、全員を4グループに分け、各グループ約15分間、保育室と多目的室の2ヶ所で行う。先生は同席せず。</p> |

総合評価（評価結果についての講評）

JR 東神奈川、京浜急行仲木戸両駅前の19階建てマンションの3階に、2002年4月開設した定員100名、公設民営の保育園です。運営法人が同じで約50年の歴史を持つ小鳩保育園との関係が深く、朝7時から21時（乳児は20時）までの長時間保育を行い、11月からは休日保育も行います。

高く評価できる点

1. 子どもを中心とした高い理念と保育姿勢

“子どもたちの「今、ここに生きる」を大切に、一人ひとりが「かけがえのない存在」と感じ、自信をもって生きていく力を育てる”という基本理念に沿って、全職員がしっかりとした保育観・子ども観を持ち、子どもの発達をおさえ、子どもの姿をとらえつつ保育を行っています。その結果、乳児期にはしっかりと保育士に受け止められ、幼児期にはぶつかりあいも経験しながら自己主張し、友達の気持ちも考えつつ関わり合いを深めています。

ビル内での長時間保育という条件の下、地域の人々や公園・学校・図書館など多くの地域資源を活かしながら、常に子どもにとってのよりよい環境づくりに、工夫と改善を繰り返しています。

2. 職員のモチベーションの高さ

これまでに法人全体でプロジェクトチームをつくって、21時までの長時間保育や11月からの休日保育の実施に取り組むことができたのは、日常的に職員の意見を取り入れた民主的な運営によって醸成された、職員のモチベーションの高さの成果といえます。さらに、優れた人材管理体制として、クラスリーダーの交代を行うことにより活性化を図り、男性職員にも「保健休暇」を与えて心身のリフレッシュを図るなど、職員が働きやすい環境の整備をしています。

保育向上のために個々のレベルや課題、希望にそった内容で数多くの研修に参加し、事例発表も行っています。その結果は報告書にまとめられ、全国大会への参加報告書は保護者にも配付されています。

3. 優れた地域との連携

地域の子育て支援ニーズが高まる中で、園としては、園庭開放、プール開放、一時保育、電話育児相談、「親子で遊ぼう会」の開催などを行っています。また、「神奈川区子育て支援連絡会」の中で一時保育の情報提供を行うほか、育児相談会のチラシや毎月の情報紙「ふぉん シャンズ」を近隣各戸に配布しています。地域との交流としては、区民祭に参加して保育園のアピールをし、ふれあい祭（運動会）に老人会の人を、「落語をきく会」には地域住民を招待しています。地域の小中高生の体験学習も積極的に受け入れています。

園児は地域の図書館を利用したり、日常的に近隣小学校の校庭を遊び場として使わせてもらったり、運動会等のイベントにも参加しています。毎日の散歩の時などには、地域の人たちと挨拶を交わし、顔なじみになって、動植物の話をするなど親しい交流をしています。

独自に取り組んでいる点

1. 園と保護者の対等で前向きな関係づくり

園と保護者とは、単に預かり、預けるだけの関係ではなく、子どもを真ん中にして共に育ちあう関係を目指しています。園としては、保護者のさまざまな状況を受け止め、意見や要望も丁寧に聞き取っています。園からは、毎月の園だよりなどのほか、全クラスでの連絡帳使用、幼児クラスでの日誌の掲示・配付など多くの情報提供を行い、親子の交流のために絵本の貸し出しも積極的に行っています。また、年4回の保護者懇談会、保育参観、個人面談、行事への参加なども、保護者の意向を聞きながら実施しています。お父さんとカプラ（積み木の一種）で遊ぶ会を催したり、理事長が率先しておやじ会を作ろうと働きかけるなど、保護者同士の関係づくりにも意欲的です。

保護者会は、園の方針として初年度に設けられ、積極的に組織立った活動をしています。スマイルハッピーの会（クラスの枠をはずした保護者と職員の交流会）で園長や職員と自由に語り合い、市役所の職員から直接、保育料改訂や延長保育料についての説明を受けるなど、よりよい園づくりに協力しようとしています。

利用者家族アンケートの回収率が約90%と高く、設問毎に設けた自由記入欄への記入意見が、合計約450件と多数で、建設的な意見が多かったことから、保護者の意識の高さが伺われます。

改善や工夫が望まれる点

1. 設立以来の基盤整備期から発展期へ

公設民営保育園として、開設以来3年余り、さまざまな困難を乗り越えて基礎づくりに努め、工夫と改善を重ねてきました。これまでに、園の組織やマネジメント面でも多くの整備を行ってきましたが、今後はこれらの効果や効率を検証し、よりよいものにするよう見直し・改善を行うと、更なる発展が期待できます。例えば、中長期計画については、具体的な取り組み内容の時期や体制等を明確にするとよいでしょう。

これまでに整備された主なものとして、諸業務マニュアルや人材育成マニュアル、関係諸機関との連携マニュアル、ボランティア・実習生受け入れマニュアル、職員行動指針などがありますが、今後実現することが期待されるものとして、利便性向上のためのホームページの開設や、主任クラス育成プログラムの計画と明文化、研修成果の検証と研修計画の見直しなどがあります。

2. 職員間の連絡方法の見直しと、遅い時間でも保護者へのひと言を

職員は意欲的に仕事をし、さまざまな記録は緻密にとられていますが、職員間の連絡は主に口頭で行われています。長時間保育においては、職員間の連携が欠かせません。保護者からも少数ですが、重要事項の連絡がなかったと言う声が聞かれます。職員間の引継ぎ・連絡方法としてノートを利用するなど、確実・的確な方法が求められます。

乳児クラスでは、朝夕とも保護者と保育士がゆっくりと話し合う姿が見られますが、幼児クラスの特に遅い降園時には、話す時間が取れない現実があります。子どもの様子の伝達方法の一つとして、幼児クラスを含む全クラスで連絡帳を用いていますが、「直接話をききたい」との要望も保護者にありますので、園としての検討が望まれます。

当評価機関では、「障害」を「障がい」と表記します。

評価領域ごとの特記事項

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って、記載しています。

1. 人権への配慮

- * “子どもたちの「今、ここに生きる」を大切に、一人ひとりが「かけがいのない存在」と感じ、自信を持って生きていく力を育てる”という基本理念に沿って、すべてのクラスで、子ども一人ひとりを大切にしたい保育を心がけています。障がい児や外国籍の子どもを積極的に受け入れ、アレルギー児にも適切な援助をしています。
- * 個人情報保護や守秘義務について職員・実習生等に徹底され、虐待についての対応は職員に周知され、相談機関等との連携もあります。

2. 利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援

- * 「自分の思いを素直に出せる子」を保育目標の一つとし、乳児や意見表明の困難な子どもたちからも意思を汲み取り、言葉を理解できる幼児には、丁寧に説明や話をし、子どもも意見をはっきり言っています。当番活動など年齢に応じた自主的な活動が計画され、自分たちでできることは進んで自分たちで行っています。
- * 保護者とは、子どもをはさんと共に育ちあう関係を目指し、保護者会の育成にも力を入れています。園からの豊富な情報提供と共に、保護者からの意見や要望を聞く機会も多く設け、保育や園の運営に反映させています。

3. サービスマネジメントシステムの確立

- * 子どもにとってよりよい保育、よりよい環境をという前向きな姿勢で、保育サービスの向上のために、常に工夫と改善が積み重ねられています。園の「保護者と共に」の方針が保護者の園への協力意欲も高め、園づくりを後押ししています。また、職員同士の民主的な話し合いや、働きやすい職場環境が、職員のモチベーションを高めています。
- * 多くのマニュアルなど文書整備が進み、苦情処理、安全管理、衛生管理なども適切に進められ、職員間での共有が図られています。今後、見直しや検証などが蓄積されることによって、より一層の発展が期待されます。

4. 地域との交流・連携

- * 地域との交流・連携に力を入れており、地域の経営資源として、子育て支援ニーズや要望を把握する仕組みがあります。子育て支援サービスとしては、園庭開放やプール開放、長時間保育、一時保育、電話育児相談、親子で遊ぼう会の開催、情報紙「ふぉん シャンズ」の配布などを行い、11月からは休日保育も始めようとしています。
- * 地域との交流では、ふれあい祭り（運動会）や「落語をきく会」に地域住民を招待して、園児も近くの小学校の校庭を利用させてもらい、運動会に招待されています。

5. 運営上の透明性の確保と継続性

- * 基本理念は、保育計画作成や日常の保育活動において職員に理解されており、保護者にも周知されています。長時間保育や休日保育の実施にあたり、職員会議などで検討され、民主的な運営をしています。
- * 中長期事業計画書が作成されており、休日保育の実施や第三者評価の導入など、各種事業に取り組んでいます。決算報告書や事業報告書等が施設内に掲示され、職員に公開されています。児童憲章等の諸法令の遵守や行動規範について定めた「職員行動指針」があり、就業規則には守秘義務について規定され、職員に周知されています。

6. 職員の資質向上の促進

- * 次代の施設運営に備え、若手保育士をふれあい祭（運動会）やフェスティバルの実行委員長や保護者会の担当を行わせたり、交代でクラスリーダーにするなど、計画的に幹部を育成しています。人材育成マニュアルには、役割が明示されています。
- * 毎年、園長が個別に職員に面接し、今後の希望や今年度の振り返り、次年度の課題設定を行っています。年間研修計画が作成されており、常勤や非常勤を問わず、個々のレベルに合わせた各種研修に参加しています。

分類別評価結果




横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/fukushi/hyouka/index.html#qg> を参照してください。






ひょう太の数の意味は以下の通りです。



3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある




評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

| 評価分類 | 評価の理由(コメント) |
|--|---|
| <p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育理念は“子どもたちの「今、ここに生きる」を大切に、一人ひとりが「かけがえない存在」と感じ、自信を持って生きていく力を育てる”です。それを実現するため、職員の集団づくり、保護者との関係、子どもの集団づくり、地域への支援などを方針として掲げ、子どもを中心としたものとなっています。 ・ 保育計画は、保育方針に基づき、地域や保育環境・保護者の就労条件などを考慮して、長時間保育のなかで子どもにとって必要な豊かな経験ができるよう計画されています。 ・ 同じ法人経営の小鳩保育園の方針や保育計画を踏襲していましたが、今春から本園独自の保育計画作成に取り組み、8月に完成しました。それは目の前の子どもの実態をもとに、保育士全員で作成されたものです。 |
| <p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・ 常に子どもの発達や、子どもの姿を捉えながら保育を行っていることが、詳細な保育日誌、個人記録、月間指導計画、および保育士の姿勢や多くの実践報告から読み取れます。 ・ 入園前の子どもの成育歴、体質、食事、排泄、睡眠などの状況は、児童票、生活調査票、面接や観察によって把握しています。0・1歳児の面接・観察は、看護師・栄養士も加わって行っています。 ・ 短縮保育（ならし保育）については、入園時に説明され、心理的拠り所とする物の持ち込みは、乳児や障がいを持つ子どもには、期限を決めて認めています。 ・ 担任全員で前月の子どもの姿を出し合い、その反省の上で月間指導計画を立て、乳幼児部会（職員会議のもとに設置。月1回開催）に提出され、共有されます。 |
| <p>- 3 快適な施設環境の確保</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・ 発達年齢に応じた設備環境があり、使いづらい部分などは工夫や改善を行い、保育室を交換するなどしながら、子どものためのよりよい環境づくりに努めています。 ・ 保育室のほか、広い廊下を区切った空間を設けたり、一時保育室・食堂・各保育室・ペランダなどを時間や活動により柔軟に使い分け、異年齢交流の場にも使っています。 |

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 3歳児と4歳児の部屋は、可動式の棚で区切られていますが、音は直接聞こえるので、朝の会や音楽の時間など調整し合っています。 ・ 保育士は全体的に静かに話しているので、その声は隣室でも気になることはありません。 ・ 0歳児と1歳児の部屋には、共通の受け入れコーナー（前室）を設け、使いやすく改善しました。 ・ 1歳児の部屋では、部屋の出入り口付近をオムツ取り替えコーナーとしていますが、仕切りや目隠し等がありません。においや食事時への配慮をされることが望まれます。 |
| <p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・ すべてのクラスで「子ども一人ひとりを大切に」した保育を心がけています。 ・ 一人ひとりの子どもの姿を捉え、保育日誌や月間指導計画にも記録し、さらに個別の児童票、健康ノート、経過記録にも詳細に記録しています。それらは職員で共有し、新旧の引継ぎにも活かされています。 ・ 個別指導計画は、乳児のほか、特に必要な幼児についても、保護者とも相談しながら作成され、月間指導計画と併せて見直されています。 |
| <p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい児や外国籍の子どもを積極的に受け入れています。 ・ 障がい児等課題のある子どもについては、ケース会議で話し合わせ、一人ひとりの状態と計画が詳細に記録されています。専門機関の東部地域療育センターとも連携をとっています。 ・ 障がい児には、補助の保育士が付き、必要な時には援助しますが、子どもは集団の中にしっかりと位置付けています。 ・ アレルギー児についても、代替食をつくり、麦茶が飲めない子どもに合わせて、みんなが飲めるほうじ茶に換えました。 ・ 外国籍の子どもが5人おり、日本語を話せない子どもも子ども同士の関わりの中で、約2ヶ月後には言葉が通じるようになっていきます。 ・ 日本語は話せても、読み書きのできない保護者へは、必要に応じて主任や職員、保護者が手伝い、受け入れています。 |
| <p>- 6 苦情解決体制</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者から要望や意見を聞く手立てとしては、担任・主任・園長が直接聞く他、連絡帳・意見箱・懇談会・各種アンケートなど多様にあります。懇談会の日程、テーマについても保護者の希望を聞いています。 ・ 苦情対応マニュアルがあり、解決策などはリーダー会議、職員会議で職員と共に検討し、周知されています。 ・ 要望・苦情などは園長・主任に集約され、その助言を受けて担任が保護者へ回答し、解決できない場合には、園長・主任が対応するようになっており、これまで第三者委員に持ち込まれたことはありません。 ・ 過去の苦情や要望のデータは、ファイルされ、整理され、分析されています。 |

評価領域 サービスの実施内容

| 評価分類 | 評価の理由(コメント) |
|---|---|
| <p>- 1 保育内容[遊び]</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの年齢にふさわしいおもちゃが、保育士の手作りおもちゃも含めて豊富にあり、また、延長保育用として落ち着いて遊べるおもちゃが用意されています。それらは子どもが取り出しやすい位置に置かれ、収納されていて、遊びやすい環境となっています。 ・ 0歳児の部屋には、スロープやつかまり立ち用のマットを置いたり、廊下の突き当たりの空間を使うなど、環境に工夫がされています。また、幼児クラスも可動式ロッカーや棚、コーナーを使って子どもの落ち着ける場づくりを工夫していますが、さらに、長時間保育にふさわしい家庭的な場づくりを目指しています。 ・ ビルの中で園庭も狭く、冬は寒いという悪条件を克服するために、毎日公園や路地に出かけて体を鍛え、人や動植物との出会いも大切にし、地域の資源をフルに使った保育を行っています。 ・ 子ども同士の関係づくりに力を入れていて、子どもは乳児期からしっかりと受容され、年齢に応じてぶつかり合いも経験しながら、自分の思いを伝え、友達の話聞くようになっていきます。幼児期には自ら主体的に生活し、話し合い、給食や栽培などの当番活動を行っています。 ・ 異年齢交流も盛んで、5歳児は低年齢児の午睡後、布団の片付けや着替えの手伝い、おやつ時の手伝いを行っています。 ・ 保育士は子どもたちに優しく静かに語りかけ、子どもたちもしっかりと意見を言い、互いの信頼関係が築かれています。 ・ 訪問時はふれあい祭(運動会)を控えている時期だったこともあり、5歳児のエイサーの踊り、竹馬、跳び箱、他クラスもハシゴやマットを使った遊びなど、運動遊びが多く行われていました。 ・ 毎日の生活の流れや園外保育を重視しているため、早朝や延長保育時間以外には、自由に遊び込める時間は、あまりありません。 |
| <p>- 1 保育内容[生活]</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・ 長時間保育の子どもが多く、時には40人(約4割)もの子どもが夕食をとります。 ・ 夕食をとる子どもが多いので、おやつと夕食の時間を調節したり、家庭での食生活を調べた結果を活かして、昼食と夕食だけで一日の栄養摂取量が足りるような献立に変えるなど、改善と工夫を積み重ねています。 ・ 保護者に食への関心を持ってもらうために、試食の機会を設け、給食だけで食に関する情報を積極的に提供しています。 ・ 子どもたちは、当番が盛り付けや配膳をしたり、とうもろこしやたけのこ、豆の皮むきを手伝うなど、積極的に食べることに関わっています。また、お箸を使うようになった2歳児には、子どもの手に合わせた竹箸を保育士が手作りするため、持ちやすく、子どもも大事に使っています。 ・ 午睡をしない子どもへの強制はありませんが、保育が長時間にわたるなので、休息をとることを大事にしています。5歳クラスは2月には午睡をしなくなり |

| | |
|--|---|
| | <p>ますが、長時間保育の子どもには、休息をとれるように時間や場所を配慮しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄については個人差を重んじて強制はありませんが、散歩の前や午睡前には一斉にトイレに行きます。2歳のトイレトレーニングは家庭と連携をとりながら、ゆっくりと進められています。 ・食事に関しては保護者から大変喜ばれていますが、彩りにもう一工夫が望まれます。また、せかされることはありませんが、食べるのが遅い子どもも、落ち着いて食べられる雰囲気が保てるような工夫が求められます。 |
| <p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・健康マニュアル、感染症マニュアルが整っています。 ・看護師が配置されていて、健康管理は積極的に進められています。 ・一人ひとりの健康ノートがあり、既往症、検診結果など健康に関する情報はすべて記録され、保護者と園で共有されています。 ・歯磨きは1歳から行われ、歯磨き指導の他、歯科検診には保護者も立ち会うことが出来ます。また、医師による検診結果への意見や相談内容への回答は、毎月発行の保健だよりに掲載されます。 ・感染症マニュアルがあり、発症についての対応など、保健だよりや掲示によって保護者へも周知されています。 |
| <p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・保育用と給食用の2種類の衛生管理マニュアルがあり、特に給食室への出入り等は厳しく管理されています。 ・延長保育のメンバーが中心になって、実地に即した清掃マニュアルが作成され、こまめに実践されています。 ・今後、マニュアルの定期的な見直しや研修の実施が望まれます。 |
| <p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・安全管理マニュアルがあり、安全チェック、避難訓練等が定期的に行われています。 ・事故予防、事故対応マニュアルも整備され、ケガは保護者へ連絡され、事故・ケガの詳細と対応の記録が事故記録・アクシデントレポートに残されています。また、再発防止策がリーダー会議、乳幼児部会で検討されています。 ・不審者対応については、園内と散歩時のマニュアルがあり、さまざまな対応策が取られていますが、不審者侵入対策は不十分なことを園も認識し、また、保護者からも不安が強く出されていますので、電子錠の稼働を準備しています。 |

- 3 人権の尊重





- ・ 保育士は、乳児クラスでは笑顔で穏やかに子どもの気持ちを受け入れ、幼児クラスでも優しく子どもに語りかけ、子どももよく聞いています。
- ・ 静かに一人で過ごしたりプライバシーが守られる空間は豊富にあります。園としてはさらに家庭的なほっと落ち着ける場所が望ましいとの意向があります。
- ・ いろいろな家庭、子どもがいることを認め、受け入れる気持ちが園全体にあります。
- ・ 個人情報保護や守秘義務については、就業規則や職員・ボランティア向けの「守秘義務への注意」にも記載され、徹底が図られています。
- ・ 虐待についての対応は職員に周知され、相談機関等との連携もあります。
- ・ 園長はじめ主任、担任は、保護者がなんでも相談できるよう、信頼関係づくりに努めています。

- 4 保護者との交流・連携






- ・ 保護者と園は、単に子どもを預ける、預かるという関係ではなく、子どもを真ん中にして共に育ちあう関係を目指しています。
- ・ 理事長・園長他全職員が「保護者とともに」という姿勢を貫き、保護者の立場や要望へも理解があります。また、保護者も園の理念や方針に理解を示していることが、家族アンケートから伺われます。
- ・ 保護者へ子どもやクラスの情報をできるだけ伝えようと、クラスだよりや連絡帳、集団日誌への記入に、保育士は労を惜しんでいません。
- ・ 保護者懇談会は年4回行われ、他に保育参観、個人面談、行事への参加など多くの参加機会がありますが、その日程などについても保護者の意向を大事にしています。
- ・ 保護者からの相談は、担任の他、園長・主任も丁寧に応じ、必要なものは記録され、継続的にフォローされています。
- ・ 保護者会は初年度につくられ、その後スマイルハッピーの会やおやじ会などもつくられ、カプラで遊ぶ会などを催し、保護者同士の関係づくりにも努めています。
- ・ 保護者会は、園とは自立した関係にあり、積極的に活動しています。今春には、保育料改訂や延長保育料についての説明を市職員から直接受ける機会を設けるなど、よりよい園づくりに参画しようと努めています。




評価領域 地域支援機能




| 評価分類 | 評価の理由(コメント) |
|---|--|
| <p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の子育て支援のニーズが高まる中で、「神奈川区地域交流会」に参加して、民生委員や町内会長、老人会から子育て支援ニーズに対する要望を聞いています。また、意見箱を設置して要望を把握しています。 ・ 毎週水曜日午後に電話育児相談を行っていますが、園庭開放や一時保育の申し込みの電話などの際に、子育ての悩みなどの相談にのることが多く、その際にニーズを把握しています。 ・ 子育て支援サービスについて、リーダー会議で見直しをし、職員会議で報告し、3月の情報紙「ふぉん シャンズ」に掲載しています。 ・ 地域に対する子育て支援サービスとして、園庭開放やプール開放、一時保育、電話育児相談、親子で遊ぼう会を開催しています。 ・ 「神奈川区子育て支援連絡会」に参加して、区内に子育ての情報を提供しています。 |
| <p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話育児相談は、毎週水曜日の午後に行っていますが、実際に相談が多いのは、園庭開放や見学に来たとき、一時保育の申し込みの電話のときなどです。 ・ 毎月地域に情報紙「ふぉん シャンズ」やチラシを600～800枚ほど配って、子育て支援情報を提供しています。 ・ 関係機関との関わりについてのマニュアルやリストである「育児相談における専門機関との連携」を、各リーダーに配付して周知しています。 ・ 関係機関との連携の担当は、関係機関ごとに園長や主任、幹部職員が分担しています。 |

評価領域 開かれた運営

| 評価分類 | 評価の理由(コメント) |
|--|---|
| <p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年、ふれあい祭(運動会)に、園庭開放に来ている親子や地域の老人会の方を招待しています。また、「落語をきく会」を開催し、地域住民を招待して、園児や卒園児と交流する機会を設けています。 ・ 子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているものとして、近くの「カナックホール」の写真展の見学に行ったり、神奈川県図書館や幸ヶ谷図書館に絵本や紙芝居を見に行ったりしています。 ・ 日常的に、神奈川小学校の校庭を遊び場として使用させてもらい、運動会にも招待されています。また、二ッ谷小学校や幸ヶ谷小学校のイベントにも参加させてもらっています。 ・ 散歩の際行う「路地探索」や公園に行く途中では、地域の住民と挨拶をしたり、声をかけてもらったりして、交流を図っています。 ・ 小中高生の体験学習を積極的に受け入れています。 |
| <p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・ パンフレットや情報紙を毎月発行して、地域や関係機関に情報を提供しています。 ・ 利用条件やサービス内容等の問い合わせには、パンフレット等の資料が用意され、常時説明できるようになっています。 ・ 電話で問い合わせの際に、見学ができることを案内して、希望に応じて対応しています。 |
| <p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアと実習生の受け入れ時には、受け入れマニュアルとして「保育実習にあたって」があり、職員が受け入れの趣旨や考え方を理解できるようになっていて、受け入れ担当者も決まっています。 ・ 実習生の受け入れ終了後には、反省会を開き、今後の課題などを聞いており、ファイルに記録が残されています。 ・ ボランティアの受け入れに当たっては、履歴書を提出させ、面接を行い、心得として「留意事項」を用意しています。また、受け入れ記録を残し、感想文を園の方針などに反映させるよう努めています。 |

評価領域 人材育成・援助技術の向上

| 評価分類 | 評価の理由(コメント) |
|---|--|
| <p>- 1 職員の人材育成</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士は、年齢や経験年数、男女比などがバランスのよく構成・配置されていて、看護師や栄養士、調理員も適切に確保されています。 ・ 毎年、園長が個別に職員に面接し、今年度の振り返りや今後の希望を聞き、次年度の課題設定を行っています。 ・ 職員の研修ニーズに配慮した研修計画が作成されていて、クラスごとの話し合いを受け、リーダー会議で園内研修内容を決定しています。 ・ 外部研修には、個々のレベルに合わせて、新人研修、中堅保育士研修、カウンセリング講座、主任保育士研修、統合保育研修等に、年間計画に基づいて参加しています。 ・ 非常勤職員のための分かりやすい業務マニュアルが整備されていて、各クラスのリーダーが責任をもって、常勤・非常勤のバランスを取ってローテーションを組んで指導をしています。 ・ 研修参加者の報告書を、他の職員に回覧して職場で活かすようにし、さらに研修成果の検証に基づいて、研修計画の見直しを行うと、研修効果が高まるものと期待されます。 |
| <p>- 2 職員の技術の向上</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・ 園内研修として、外部から助言者を迎えて、年6回各クラスの実践報告と討議を行い、その中でサービス事例研究やケース研究を行っています。 ・ サービスの見直しは、毎月の職員会議で、また、1～3月には年間の見直しを行っていますが、職員個々のスキルの自己評価を行うと、さらに技術の向上が図れると思われれます。 |
| <p>- 3 職員のモチベーション維持</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各職層や役割ごとの期待水準が「人材育成マニュアル」に明文化されていて、職員は目標を立てやすくなっています。 ・ 若手職員を交代でクラスリーダーにすることによって、職員のやる気を引き出し、職場の活性化を図っています。 ・ 男性職員は少数ですが、男性職員交流会を開催して、男性職員の視点から職場改善や保育環境の改善を図っています。 ・ 男性職員にも「保健休暇」が毎月1日与えられており、心身がリフレッシュできるよう配慮されています。 ・ 年に1回個別に職員面接を行い、満足度や要望を聞き、園長や理事長に対する意見を職員から募り、それらを反映する仕組みになっています。 |

| 評価分類 | 評価の理由(コメント) |
|---|--|
| <p>- 1 経営における社会的責任</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童憲章等の諸法令の遵守や行動規範について定めた「職員行動指針」があり、就業規則に守秘義務について規定されています。 ・ 決算報告書や事業報告書等の経営・運営の情報が施設内に掲示され、職員に公開されています。 ・ ダンボール箱は子ども会に提供し、おもちゃに廃材を利用し、ごみ減量・リサイクルを行っています。また、プランター栽培を通して、緑化推進を行っています。 ・ 環境配慮の考え方を、保育園の方針や目標に入れることが望まれます。 |
| <p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本理念は明文化して玄関に掲示され、保育計画作成段階や日常の保育活動において、職員に理解されています。 ・ 毎月保護者会の役員会に園長や職員が参加して、意見交換や説明を行っています。 ・ 延長保育や休日保育の実施など、重要な意思決定にあたっては、職員会議等で検討をするなど、民主的な運営を実践しています。 ・ 主任は各クラスで、保育内容の指導や、課題の助言や援助を行い、職員の状況や心身の状態を把握し、スーパーバイザーとしての役割を果たしています。 ・ 今後は、スーパーバイズできる主任クラスを、計画的に育成するプログラムの明文化が望まれます。 |
| <p>- 3 効率的な運営</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業運営に影響のある情報は、理事長や園長、主任が外部の各種会議に出席して収集していて、保育園内の各種会議において主要幹部で共有され、重点改善課題として設定されています。 ・ 中長期事業計画書が作成されていて、休日保育の実施や第三者評価の取入れなど、各種事業に取り組んでいます。 ・ 次代の施設運営に備え、若手職員をクラスリーダーにしたり、ふれあい祭やフェスティバルの実行委員長、保護者会担当を担わせるなどして、計画的に幹部を育成しています。 ・ 運営に関し、弁護士や税理士など外部の専門家や中小企業センターなど、外部機関を活用して意見を取り入れています。 |

利用者家族アンケート 分析

実施期間 2005年8月22日～9月2日

実施方法 事業者から直接利用者家族に配布（手渡し）

回収率 89.9%（配布99枚、回収89枚）

所属クラス 0歳児...14人、1歳児...16人、2歳児...15人、3歳児...13人、4歳児...18人、5歳児...13人

結果の特徴

1、総合満足度

- ◇ 総合的には、利用者家族は95.5%という大変高い満足度です（満足82.0%、どちらかといえば満足13.5%）。ほとんどのアンケート項目で「満足」と「どちらかといえば満足」が90%を超える高い満足度となっています。自由記入欄に満足感や感謝の記述が28件ありました。
- ◇ 回収率が約90%と大変高く、各設問の自由記入欄への記入意見が、合計約450件と多数で、建設的な意見が多かったことから、園と保護者との連携の良さが伺われます。

2、基本理念や基本方針について

- ◇ 当保育園の保育目標や保育方針を知っている保護者は96.8%で、よく周知されています（よく知っている47.2%、まあ知っている49.4%）。
- ◇ そのうちの94.4%が保育目標や保育方針に共感しています（共感できる84.3%、まあ共感できる10.1%）。自由記入欄に賛同する意見が23件ありました。

3、サービス内容について

- ◇ 「遊び」においては、「おもちゃや教材」については、100%の保護者が満足しています（「満足」82.0%、「どちらかといえば満足」18.0%）。そのほかの「遊び」に関する項目についても、いずれも90%以上の高い満足度です。自由記入欄に手作りや工夫されたおもちゃなど、32件の満足感を表す記述がありました。
- ◇ 「給食」に関する項目についても、「不満」や「どちらかといえば不満」という回答は一人もなく、ほぼ100%に近い満足度です。自由記入欄に12件の満足感を表す記述がありました。
- ◇ 「体調への気配り」や「ケガに関する説明や対応」についても、90%以上の高い満足度となっています。自由記入欄に12件の満足感を表す記述がありました。
- ◇ 「園と保護者との連携・交流」についても、多くの項目で90%前後の高い満足度ですが、「送り迎えの際の説明」や「お子さんの重要な情報の連絡」については、他の項目に比べて、不満が少し（9.0%と6.7%）あります。自由記入欄にお迎えが遅くなったときの対応など、29件の満足感を表す記述がありましたが、反面、連絡が不十分などの記述が4件ありました。
- ◇ 「職員の対応」でも、ほとんどの項目で、90%以上の高い満足度ですが、「アレルギーや障がいのある子への配慮」で、不満ではないが、「その他」が16.9%あるのは、非該当者の回答と思われます。自由記入欄に子どもが保育園に行くのを楽しみしているなどの38件の満足感を表す記述がありました。反面、6件の不満の記述がありました。
- ◇ 「保育園の快適さや安全対策」において、「外部からの不審者侵入への対策」が、不満にその他を含めると28.1%あり、不安に思っている保護者が多く、自由記述欄への記述は17件ありました。また、清潔さなどの満足については、16件の記述がありました。
- ◇ 「入園するときの見学」では、「どちらかといえば不満」や「その他」が約20%ありますが、3年前の開業時の入園では、施設の完成がぎりぎりだったため見学できなかったり、上の子が入っているため見学は必要ないというのが主な理由です。自由記入欄には、21件の満足感を表す記述がありました。不満は区役所に対するものを含めて3件ありました。
- ◇ 「保育園に関する年間計画」では、ほとんどの項目で約95%から98%の高い満足度です。自由記入欄に、保護者の要望の取り入れや無理のない計画など、22件の満足感を表す記述がありました。

満足度の特に高かった点

- ◇ 「園のおもちゃや教材の適切性（子どもが自由に使える、年齢にふさわしいなど）」については、100%の保護者が満足しています。
- ◇ 「入園時にお子さんの様子や生育歴を聞くなどの対応」「給食のメニューの充実」「園の行事の開催日や時間帯の配慮」が、100%に近い満足度です。

満足度がやや低かった点

- ◇ 「送り迎えの際の説明」や「お子さんの重要な情報の連絡」については、他の項目に比べて、不満が少し（9.0%と6.7%）あります。
- ◇ 「外部からの不審者侵入への対策」が、その他も含めると28.1%の保護者が不安に思っています。園はその点を認識しており、対策を立て、実施を予定しています。

利用者家族アンケート集計結果

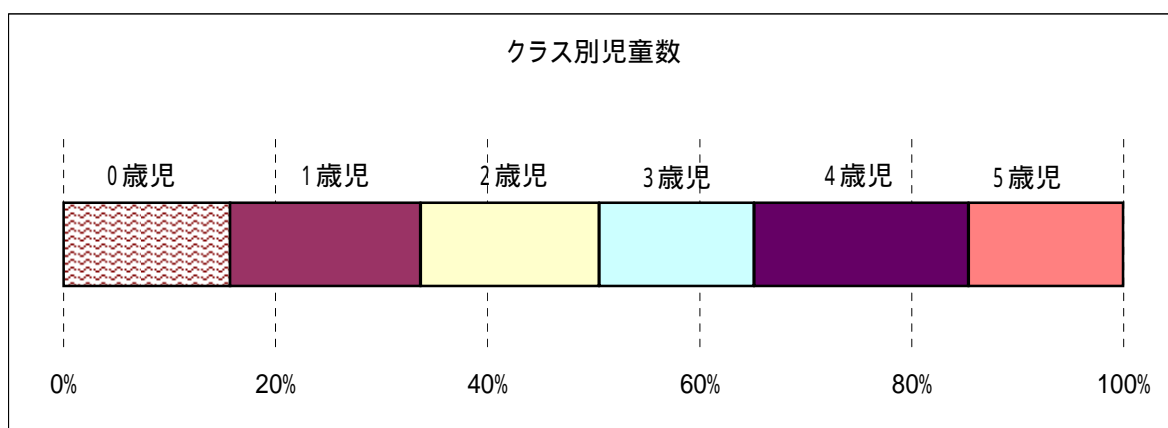
実施期間： 2005年 8月22日～9月2日

回収率： 89.9%（回収89枚 / 配付99枚）

【属性】

クラス別児童数 複数在籍の場合は、下の子どもで記入

| 合計 | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 無回答 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 89 | 14 | 16 | 15 | 13 | 18 | 13 | 0 |



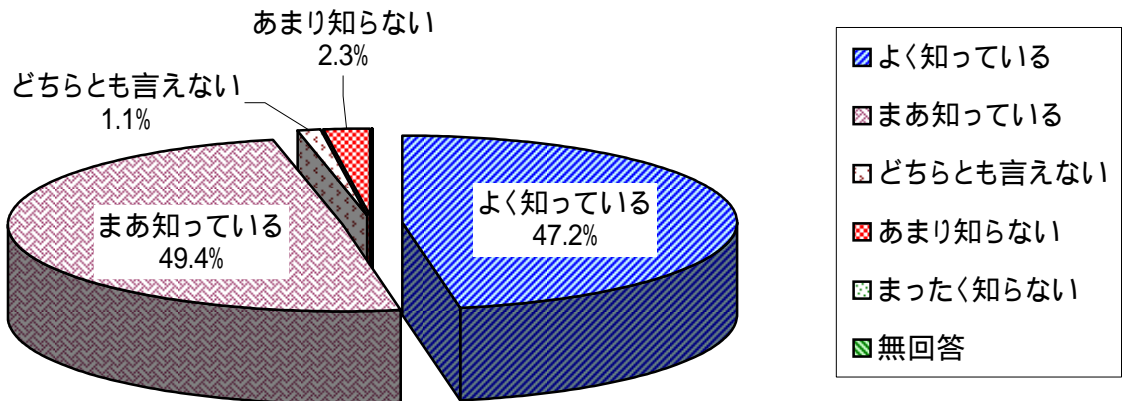
保育園の基本理念や基本方針について

問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

| 問1: | よく知っている | まあ知っている | どちらとも言えない | あまり知らない | まったく知らない | 無回答 | 計 |
|---------------------------|---------|---------|-----------|---------|----------|-----|-----|
| あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか | 47.2 | 49.4 | 1.1 | 2.3 | 0.0 | 0.0 | 100 |

保育園の保育目標・保育方針を知っていますか



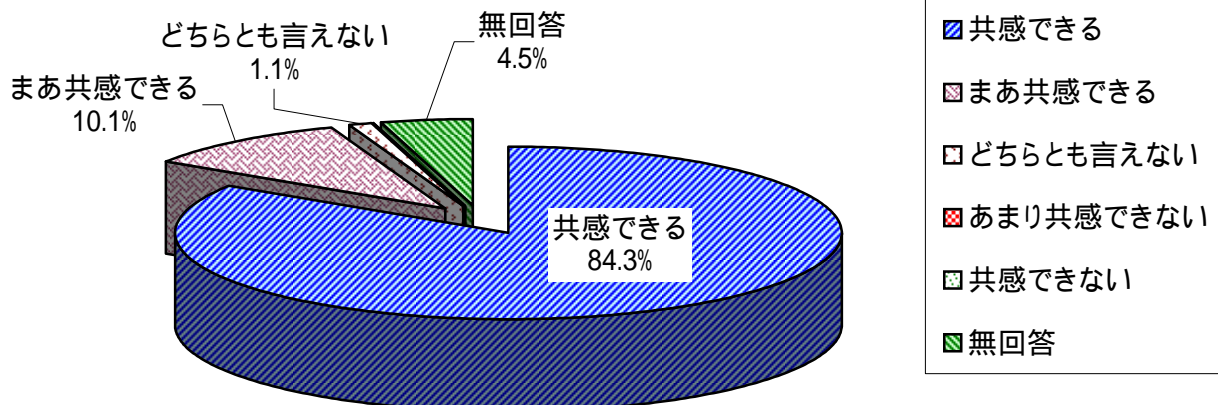
「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

| 付問1: | 共感できる | まあ共感できる | どちらとも言えない | あまり共感できない | 共感できない | 無回答 | 計 |
|---------------------------------|-------|---------|-----------|-----------|--------|-----|-----|
| あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか | 84.3 | 10.1 | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 4.5 | 100 |

保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか



保育園のサービス内容について

問2 入園時の状況について

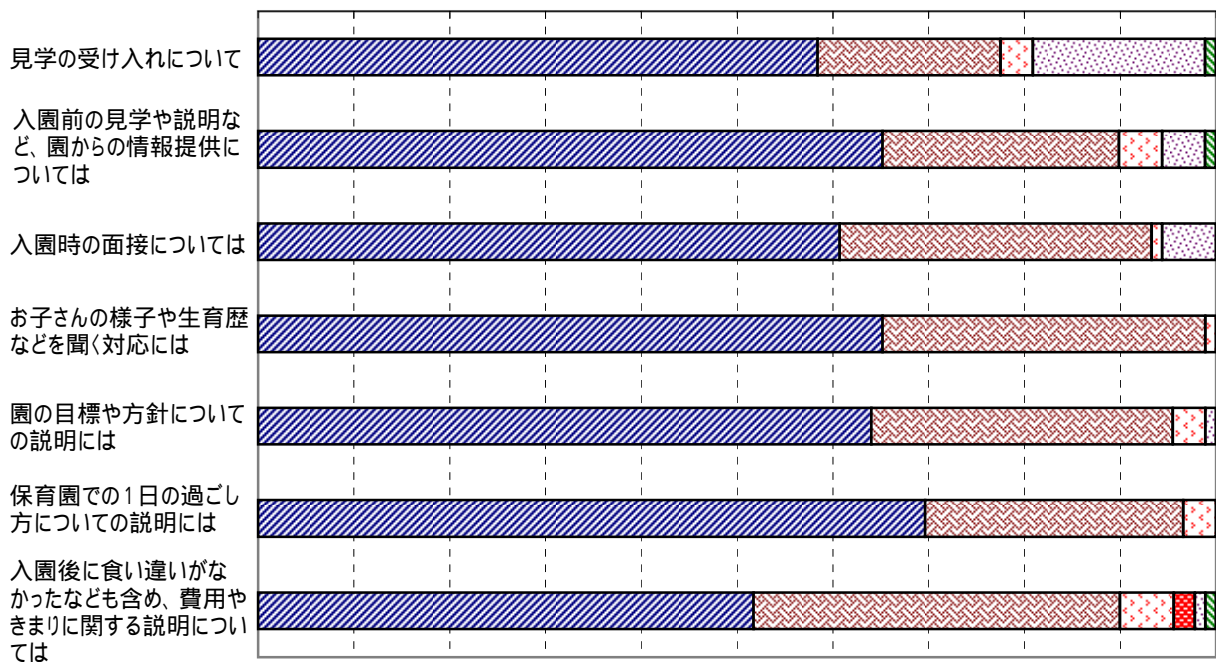
(%)

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|--------------------------------------|------|------------|------------|-----|------|-----|-----|
| 見学の受け入れについて | 58.4 | 19.1 | 3.4 | 0.0 | 18.0 | 1.1 | 100 |
| 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については | 65.2 | 24.7 | 4.5 | 0.0 | 4.5 | 1.1 | 100 |
| 入園時の面接については | 60.7 | 32.6 | 1.1 | 0.0 | 5.6 | 0.0 | 100 |
| お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には | 65.2 | 33.7 | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 園の目標や方針についての説明には | 64.0 | 31.5 | 3.4 | 0.0 | 1.1 | 0.0 | 100 |
| 保育園での1日の過ごし方についての説明には | 69.7 | 27.0 | 3.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 入園後に食い違いがなかったなども含め、費用やきまりに関する説明については | 51.7 | 38.2 | 5.6 | 2.2 | 1.1 | 1.1 | 100 |

入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問3 年間の計画について

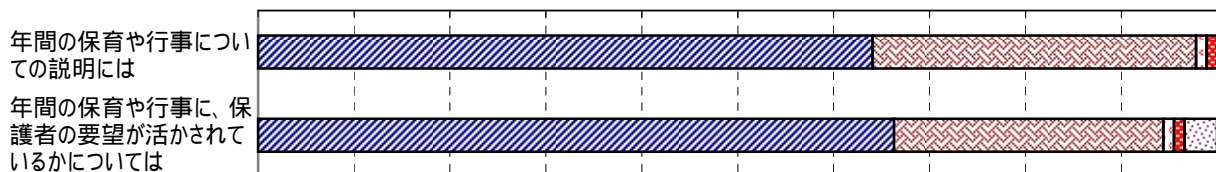
(%)

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|--------------------------------|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 年間の保育や行事についての説明には | 64.0 | 33.7 | 1.1 | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては | 66.3 | 28.1 | 1.1 | 1.1 | 3.4 | 0.0 | 100 |

年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

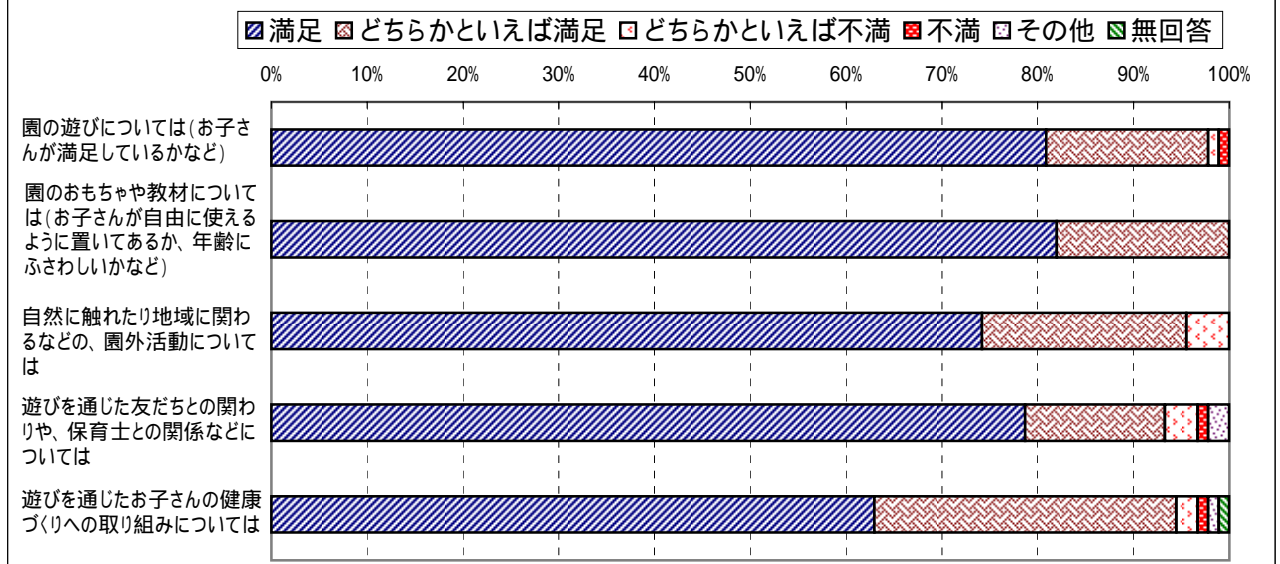


問4 日常の保育内容について

(%)

| 「遊び」について | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|--|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 園の遊びについては(お子さんが満足しているかなど) | 80.9 | 16.9 | 1.1 | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど) | 82.0 | 18.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については | 74.2 | 21.4 | 4.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては | 78.7 | 14.6 | 3.4 | 1.1 | 2.2 | 0.0 | 100 |
| 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては | 62.9 | 31.5 | 2.2 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 100 |

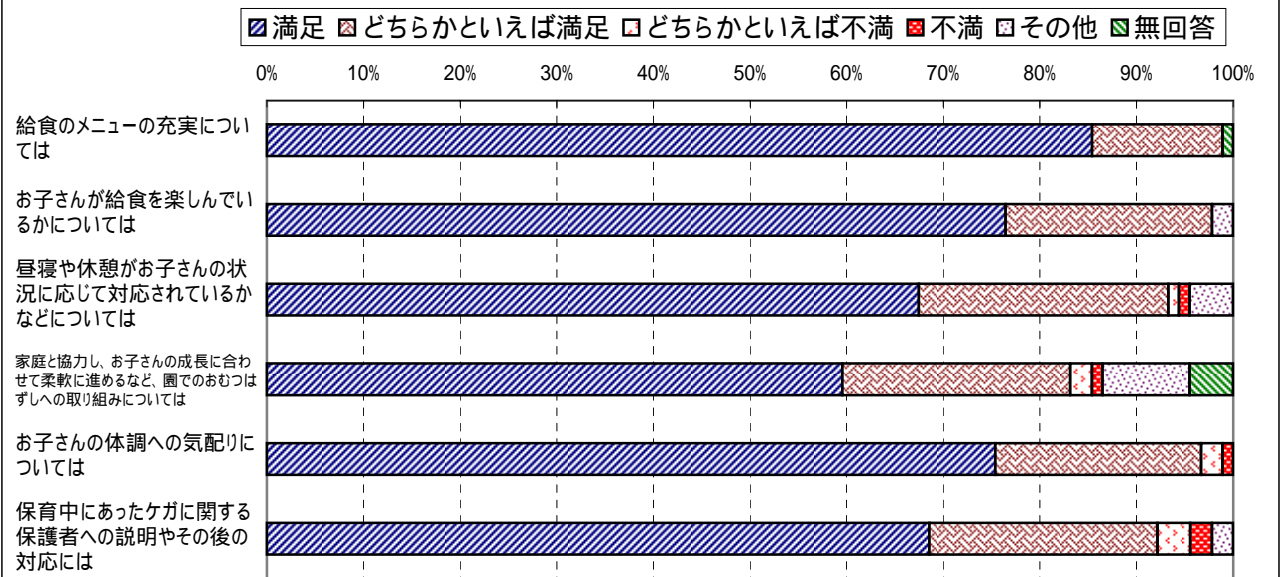
日常の保育内容「遊び」について



(%)

| 「生活」について | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|--|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 給食のメニューの充実については | 85.4 | 13.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.1 | 100 |
| お子さんが給食を楽しんでいるかについては | 76.4 | 21.4 | 0.0 | 0.0 | 2.2 | 0.0 | 100 |
| 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては | 67.5 | 25.8 | 1.1 | 1.1 | 4.5 | 0.0 | 100 |
| 家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについては | 59.6 | 23.6 | 2.3 | 1.1 | 9.0 | 4.5 | 100 |
| お子さんの体調への気配りについては | 75.3 | 21.3 | 2.2 | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には | 68.5 | 23.6 | 3.4 | 2.3 | 2.2 | 0.0 | 100 |

日常の保育内容「生活」について



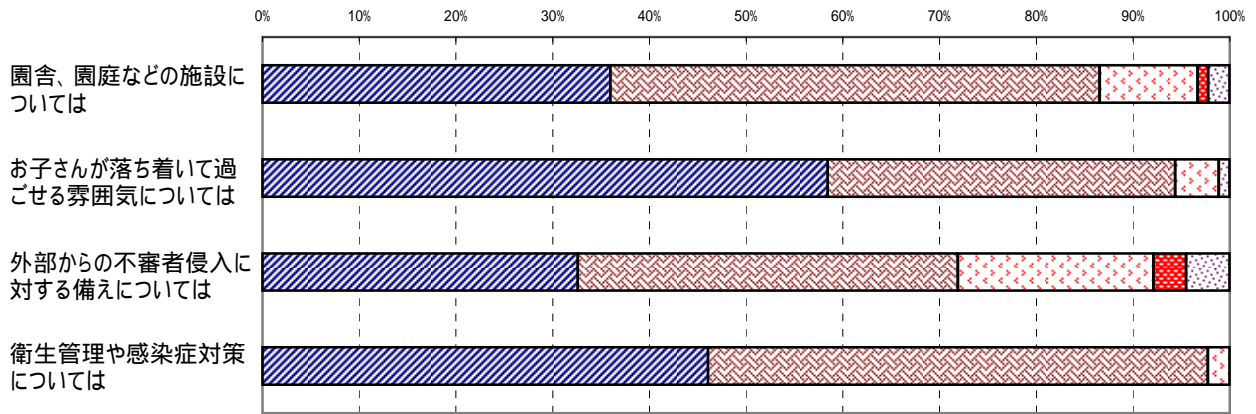
問5 快適さや安全対策などについて

(%)

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|------------------------|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 園舎、園庭などの施設については | 36.0 | 50.6 | 10.1 | 1.1 | 2.2 | 0.0 | 100 |
| お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については | 58.4 | 36.0 | 4.5 | 0.0 | 1.1 | 0.0 | 100 |
| 外部からの不審者侵入に対する備えについては | 32.6 | 39.3 | 20.2 | 3.4 | 4.5 | 0.0 | 100 |
| 衛生管理や感染症対策については | 46.1 | 51.7 | 2.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |

快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答



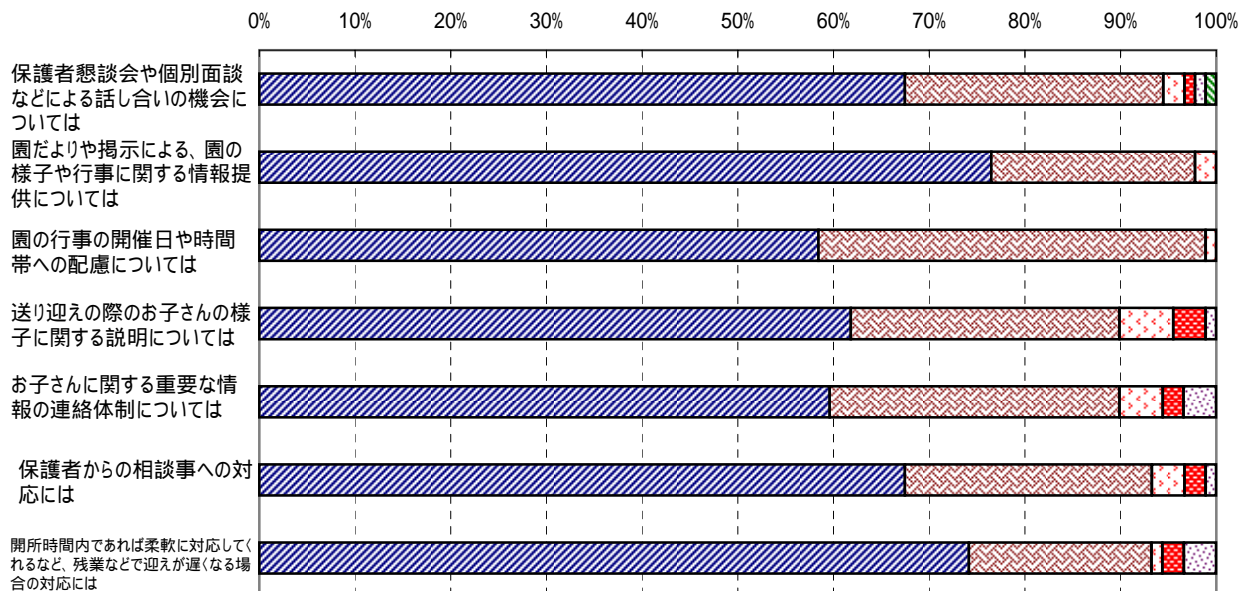
問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|---|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については | 67.4 | 27.0 | 2.2 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | 100 |
| 園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については | 76.4 | 21.3 | 2.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 園の行事の開催日や時間帯への配慮については | 58.4 | 40.4 | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については | 61.8 | 28.1 | 5.6 | 3.4 | 1.1 | 0.0 | 100 |
| お子さんに関する重要な情報の連絡体制については | 59.6 | 30.3 | 4.5 | 2.2 | 3.4 | 0.0 | 100 |
| 保護者からの相談事への対応には | 67.4 | 25.8 | 3.4 | 2.2 | 1.1 | 0.0 | 100 |
| 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には | 74.2 | 19.1 | 1.1 | 2.3 | 3.4 | 0.0 | 100 |

園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答



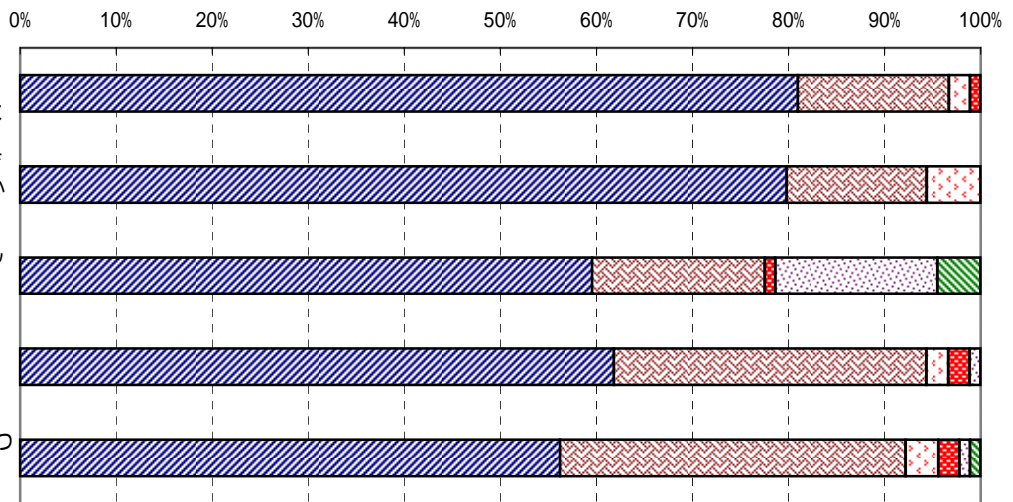
問7 職員の対応について

(%)

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 | 計 |
|---------------------------------|------|------------|------------|-----|------|-----|-----|
| あなたのお子さんが大切にされているかについては | 80.9 | 15.7 | 2.2 | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては | 79.8 | 14.6 | 5.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については | 59.6 | 18.0 | 0.0 | 1.1 | 16.9 | 4.5 | 100 |
| 不満や要望を気軽に言えるかどうかについては | 61.8 | 32.6 | 2.3 | 2.3 | 1.1 | 0.0 | 100 |
| 不満や要望への対応については | 56.2 | 36.0 | 3.4 | 2.2 | 1.1 | 1.1 | 100 |

職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



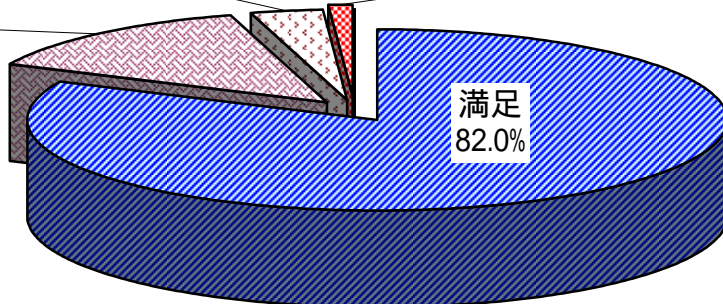
問8 総合的に評価すると

(%)

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | 無回答 | 計 |
|--------|------|------------|------------|-----|-----|-----|
| 総合満足度は | 82.0 | 13.5 | 3.4 | 1.1 | 0.0 | 100 |

総合満足度

どちらかといえば満足 13.5%
 どちらかといえば不満 3.4%
 不満 1.1%
 満足 82.0%



■満足
 ■どちらかといえば満足
 □どちらかといえば不満
 ■不満
 ■無回答

利用者本人調査 分析

観察調査

2005年9月29日 7:00~13:00 10月4日 9:30~11:00

0歳児

午前7時から登園が始まり、8時には13人全員がそろっていました。保護者から離れて泣く子はなく、保育士にしっかりと受け止められ、不安のありそうな子はずっと抱っこされていました。10月で全員が1歳になるとのことで、よちよち歩きやつかまり立ちをしたり、保育士とおもちゃで遊んだり、歌・わらべ歌・絵本などで楽しそうに遊んだり、友達と物を取り合ったりもしていました。

どの子も保育士に、気持ちや、やりたいことを受け入れられ、やさしく世話をしてもらっているので、安心して満ち足りているように見受けられました。

1歳児

散歩に出かけるとき、カートに乗るか歩くかの意思を聞いてもらっていました。歌を歌ったり、近所の人と挨拶しながら公園につくと、走ったりままごとをしたりそれぞれ保育士と共に楽しんでいました。

帰るとき遊び続ける子どもや、途中でショベルカーを見て動こうとしない子の気持ちを受け止めながら、一人ひとりに声をかけて、自然に帰路につかせていました。

2歳児

散歩で近くの路地にでかけ、通りがかりの人や家の前の人と話したり、かけっこをして遊んでいました。食事もおかわりを希望する子には何がほしいかを聞き、個人のペースを大事にして急がせることはありませんでした。

園としての初めての試みで、絵本の貸し出しをするために主任が何冊かの絵本を読み、その後順番に一人2冊ずつの本を選びました。子どもたちはうれしそうに早速読んだり取り替えたりしていました。本の読み聞かせのときは熱心に聞いていました。

保育士は子どもたちにダメという言い方ではなく、「こうしたらどう?」と選ぶようにさせ、また、子どもたちのできたことをほめていました。

3歳児

朝の会で保育士が静かに紙芝居を読み、死んだクワガタを公園に埋めに行く話しをし、調査員の紹介と目的を話しましたが、子どもたちはとてもよく聞いて、調査員にも質問し、好奇心いっぱいでした。散歩に出かける準備は慣れていて、食事の準備も当番が汁物などもお盆に載せて運ぶなど、主体的に動いていました。もめ事も保育士が丁寧に聞いて対処していました。

別の日に、マットでごろごろ転がる体操遊びをしているとき、やりたがらない子に保育士も話しかけていましたが、他の子から「ちゃんがんばれ」のコールが上がり、それに押されるようにごろごろと始め、やった後、うれしそうに飛び跳ねていました。

4歳児

朝の会で保育士がいろいろな話をしましたが、子どもたちはとてもよく聞き、質問をしたり考えを発表したりしていました。園庭でのマットや跳び箱、棒を使った体操遊びでもどの子も意欲的に繰り返していました。

その後公園に出かける予定で、集まらない子に保育士が話しかけていると、他の子どもたちも誘っていました。また手をつなごうとしない子にも保育士が長い時間をかけ話していましたが、結局公園へ行くことは中止となりました。部屋に戻ってから他の子どもたちとも話し合いましたが、手をつなごうとしない子どものことも理解をしていて、夕方には全員で出かけました。

5歳児

ふれあい祭のためにエイサーの踊りを練習していました。指導をしていたのは外部講師で、踊りのポイントやマンサージ(頭に巻く紫や赤色の手拭)の結び方を教えてもらい、真剣に聞いていました。沖縄の食べ物や服、踊りのいわれも調べ、本物の太鼓やサージを使いながら、繰り返し集中して踊り、障がいを持つ子どもみんなと同じように楽しんでいました。

園庭での跳び箱や竹馬の練習も、子どもたちが繰り返して練習し、特に竹馬は夕方の自由遊びの時間にも、子ども同士で竹を持ち合いながら練習し、下に敷くシートも自分たちで片付けていました。

17:00~21:00

乳児、幼児

0歳児は室内で、保育士は時に二人を抱っこし、朝とはまた違ったおもちゃやエプロンシアターで遊び、18時45分には夕食をしていました。

園庭では幼児が三輪車やフラフープなどで自由に遊んだり、保育士とハシゴを使った遊びをしたり紙芝居を見たりしていました。ごろごろする子やべったりと甘える子も見られましたが、冷たい風が吹き始めても元気に遊び後片付けもしていました。通常はこの時間に散歩に出かけるクラスもあるそうです。

19時の夕食は、2クラス(3・5歳児は14人、2・4歳児は11人)に分れ、配膳をしてくれた4歳児に、2歳児が「ありがとうございました」とお礼を言ってから食べていました。多くの子がおかわりをしていました。

その後幼児全員が一時保育の部屋に集まり、落ち着いてパズルやブロック、絵本などで遊んでいました。その間に次々とお迎えがあり、20時には子どもが4人になり、21時に最後の1人のお迎えがありました。

5歳児聞き取り調査

2005年9月29日 16:00~17:00

5歳児17人を4グループに分け、保育室と多目的室の2ヶ所で6項目について聞きました。

子どもたちは全員好きな遊びがあり、現在取り組んでいるエイサー、竹馬、跳び箱のほか、お絵かき、ブロック、粘土、ままごと、折り紙、逆立ちなどが好きで、自由時間にできるのが楽しいとのことでした。

食事も皆楽しみにしており、嫌いなものや量が多い時は、予め減らすことになっていて、おかわりは全員したことがあるとのことでした。

食事やおやつするとき以外は、先生に言ってトイレに行っています。

ケガをした時は先生に消毒をしてもらったり、タオルで冷やしてもらい、病気になった時は薬を飲ませてもらったり、病院に連れて行ってもらう、保護者が迎えに来てくれるまでは、事務所や保育室で寝ているとのことでした。

けんかやいやなことをされた時は先生に言い、先生はけんかを止めたり、怒ったりしてくれるそうです。昼寝をしたくないときはごろごろしているとのことでした。

先生は全員がやさしいと答えましたが、怒ると怖いという声もありました。延長保育や担任の先生が休んだ時など、いろいろな先生と遊ぶそうです。

まとめ

長時間の保育ですが、子どもたちは保育士にしっかりと受け止められ、互いの信頼関係ができていると見受けられました。友達同士や異年齢のつながりで、十分自己主張をしながら、ぶつかったりもめたりしながら、保育士がそれを大事なことに捉えて、調整したり話し合ったりしています。幼児期になると自主性が育ち、自分たちでできることは自分たちでやっていました。

事業者意見

横浜市かながわ保育園

当園は、開設して4年目ですが、第三者評価は、期待水準が高くすべてを網羅しており、評価を受けたことで自信にもつながり、又改善点も明らかになり、全職員の意志統一と今後目指す方向性の確認にもなり、とてもよかったですと思いました。

調査員の方が時間の制限を越え、14時間の保育時間全てを保育に支障のないように配慮されながら観察を行い、資料もとても丁寧にみていただけだったので信頼感もち評価を受けることができました。

利用者家庭のアンケートについては、短い時間にもかかわらず89.9%の回収率で、満足度についても95.5%という高い評価をいただき、予想以上なのでうれしく思いました。保護者会に応援いただいたことがこの結果に結びついたのだ、と感謝の気持ちと同時に、「子ども達を真ん中に共に育ちあおう」との保育のねらいの方向が、正しいことに確信がもてました。今後もさらに、この結果を保護者と共有し発展させていきたいと思えます。

- (1) 衛生・清掃マニュアルの見直しについては、保健師や園医の協力を得て早速見直しを行い、研修体制の見直しについても、研修報告の回覧、短時間でも職員に報告するなど始めています。今後、中堅クラス保育士の力量アップと主任クラスの育成プログラム等も明文化し、努力していきたいと思えます。
- (2) 保護者からのアンケートに見られた「外部からの不審者侵入」への不安についても、より安心出来るように専門機関に相談する等、工夫していきたいと思えます。

第三者評価は、インターネット等に公開されることで、見る人はどうしても結果でみてしまいがちですが、多くの施設が、第三者の目を通して日頃の業務内容を全般的に見直したり、「これで良いのか」と方向性を確認したり不十分なところに「気づき」、すこしでも改善していけるよう、気軽に受けられるようになると良いと思えました。

最後に、法人の基本理念「働く女性たちと子どもたちのために最善を尽くします」をめざし、これからも歩いていくことを決意し、事業者意見といたします。